



赤とんぼ調査員求む!

～赤とんぼプロジェクト2013がスタート～



今年度も引き続き、調査活動を継続します。多くの皆さんに参加していただき、一緒に赤とんぼの舞う勝山市を未来に残していきたいと思います。

市民調査員説明会

とき ▼ 5月19日(日)
午後1時～3時

ところ ▼ 村岡公民館 ホール

申込方法 ▼ 氏名、住所、電話番号を左記まで郵送、電話またはメール等でご連絡ください

申込締切 ▼ 5月17日(金)

申・問 環境政策課 (市役所2階)

TEL 88・8104
FAX 88・1119

メールアドレス
kankyou@katsuyama.

fukui.lg.jp

「勝山エデュライフ」コラム



第18回 福井大学と勝山市の連携

4月より、私は福井大学地域科学部の特命准教授に就任しました。大学では、教員の教育を行う教職大学院のスタッフとして、今後の学校教育をより良くしていくためのお手伝いをします。

一方、引き続き勝山市の環境保全推進コーディネーターとして、勝山市における活動も続けていきます。環境教育を専門的に行う立場の者が地域に常駐し、子どもたち対象の学校教育から、大人の皆さんに至るまでに広く関わっていくという今の状況だけでも日本では他にないものですが、4月からの体制はさらに画期的です。

環境教育をさらに進めたESD(持続可能な発展のための教育)を、勝山市と福井大学が共同研究として進めてくださることになったのです。福井でESDを本格的に始めることから初の試みであるうえ、勝山市という地域全体を舞台に、大学としてESDを定着させていく試みは、全国初だと思います。

環境教育をさらに進める 福井大学と全国初の取り組み

具体的には、①幼稚園、小学校、中学校における質の高いESDプログラムを作る②現場の先生と一緒に授業の組み立てを考えて、ESDを教育現場に定着させる③子どもたちから地域の魅力をもつと高めていく発信と行動を行う④地域の人々を巻き込み、勝山をもつと良いまちにすることを進めていきます。勝山で生まれたノウハウは、大学での教育にも還元し、さらに福井全域、そして、全国へと拡げていきたいと思っています。

まだまだこうした活動に無関心な人がたくさんいます。今後、そういった人を減らし、一方で学び続ける大人を増やさなければ、「子どもたちが自慢できる勝山」の実現はできません。勝山市民が丸とあって、勝山をもつと住みよく、魅力のあるまちにしていきたいです。勝山に住むことを誇りに思い、幸せだと思える人を育てていきたいと思っています。

国保

特定健診を受けて元気な毎日を

下記の健診について、5月下旬までに黄色の封筒で受診券をお届けします。

特定健診を受けて、生活習慣病を予防しましょう!

◆国保特定健診(40歳～74歳の方)

目的: 健康の保持・増進・生活習慣病の早期発見や改善

負担額: 1,300円
(非課税世帯の方は600円 ※事前申請が必要)
※がん検診のご案内も同封します

◆後期高齢者健診(75歳以上の方)

目的: 生活習慣病の早期発見や重症化予防

負担額: 無料
※75歳に達する年度に特定健診を受診しなかった方が対象となります

＜注意事項＞

- 受診券には有効期限などが記載されていますのでご確認ください。
- すこやか・公民館で行う集団健診、または指定の医療機関へお申し込みのうえ受診してください。
- 人間ドックを申し込まれた方は重複受診となるため、受診券は送付されません。
- 5月以降の国民健康保険加入者には受診券が送付されませんので、受診ご希望の方は下記までお申し込みください。
- 受診時には「受診券」と「被保険者証」をお持ちください。

健康長寿課(すこやか内) ☎87-0888

第7回 インタビュー



たけとう病院 武藤 寛 院長

みんなで守り、育てよう勝山市の医療!

精神科医の立場から勝山市民の現状について

■精神疾患の最近の状況

外来を受診される患者は増えていますが、精神疾患が普通の疾患として認識され、精神科の敷居が低くなってきて、認知症・うつ病などの精神病が奇異な目で見られる時代ではなくなっています。

■受診される人の状況

当院の受診者の8～9割は、勝山市・大野市の方です。高齢者が多いですが、若い人の受診も増えています。インターネットの普及により受診前に多くの情報を収集し、中には自分で間違った診断名をつけてくる人もいます。疾患で多いのは、認知症・うつ病・統合失調症・パニック障害などです。

■家族や地域の状況
最近では家族関係が希薄になっていまして、高齢化に伴い、独居が増え、誰にも相談できない人がいるという状況もありません。また、家族が疲弊して支える時代だと思えます。

■連携について

精神疾患と内科などの疾患をあわせて持っている人については、市内の病院や福井社会保険病院と連携して治療を行っています。認知症をきっかけに他の医療機関と連携を取りあえるようになりまし。高齢者にとって、地域で一般的な入院医療を完結することは大切なことです。

■早めの受診を

自分の年齢や今日が何日か分からなくなったり、身だしなみが以前と違うようになったら認知症を疑ってください。うつ病については、受診が遅れれば回復するのに時間がかかったり、薬を飲んでも治りにくいタイプもあります。いずれにしても気になるようでしたら早めに受診してください。

■最後に

精神科は、みんながかかる可能性がある診療科です。イメージはまだまだ悪いかもしれませんが、他人事とは思わないでください。うつ病は「五月病」とも言われるように、異動などの環境変化で発病しやすいので、不調になったときは早めに受診してください。